

カザフスタンとベトナムで実施する北海道大学の 2つの国際共同研究の採択が決定

共に「知」を総合する科学技術協力～2024年度採択結果の発表

国際協力機構（JICA）、科学技術振興機構（JST）、日本医療研究開発機構（AMED）の三者が実施する「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）※」において、今年度、北海道大学の2つの案件が新たに採択されました。

カザフスタン共和国との案件は、地球規模の環境課題の解決に資する研究です。本研究は、環境破壊を引き起こさない超管理、即時鉱山環境対策を可能とする“スマートマイニング+”のプロトタイプおよび“在り方”をカザフスタンにて構築し、本研究の成果を資源産出国へ広域展開することで、世界鉱業の規範となる環境破壊対策および脱炭素社会実現への貢献を目指します。

ベトナム社会主義共和国との案件は、カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究です。東南アジアで重要な作物であるキャッサバに注目し、そのスターチサプライチェーンにおける生産現場での土壌への炭素貯留手法を確立し、炭素を排出する農業を炭素貯留源として変革することを目的としています。

大学の先生への取材調整も可能ですので、是非ご検討ください。

日本側研究機関	相手国研究機関	事業名	SDGs 項目
北海道大学 川村 洋平教授	カザフスタン ナザルバエフ大学	スマートマイニング+による環境破壊を引き起こさない持続可能な環境調和的鉱山開発システムの構築（環境領域）	  
北海道大学 信濃 卓郎	ベトナム 土壌肥料研究所	持続可能なデンプンサプライチェーンのためのスマートカーボンファームの構築によるキャッサバ生産体系の変革プロジェクト（カーボンニュートラル領域）	  

<※「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」とは>

SATREPS は、外務省と文部科学省の支援のもと、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) と JICA が連携して実施し、日本の優れた科学技術と ODA との連携によって、開発途上国との科学技術協力、科学技術外交を推進するプログラムです。環境、カーボンニュートラル、生物資源、防災および感染症といった地球規模課題の解決に向け、課題の解決につながる新たな知見・技術の獲得やイノベーションの創出、さらには開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図ることを目的としています。2024年度は、12件の案件が採択とされました。2008年度の事業開始以降、採択案件数は計202件、実施国は58カ国となります。

2024年度「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」新規採択案件の決定について：https://www.jica.go.jp/information/press/2024/20240418_41.html

SATREPS 概要：<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/summary/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室

TEL 03-5226-8105 e-mail : gpgsd@jica.go.jp